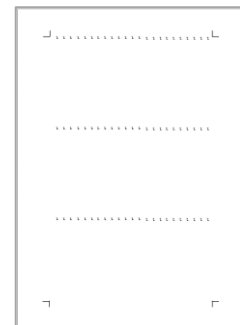


ワードの技術を学びながら楽しい文書を作る

「歯の健康について」作成手順

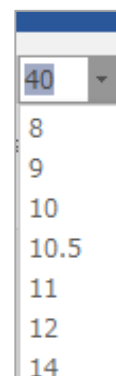
- ① 「(ページ) レイアウト」 をクリック、「余白」をクリック、「ユーザー設定の余白 (A)」をクリック、「文字数と行数」のタブをクリックして「文字方向」を「縦書き」にしてから、上余白を 20mm、下余白を 26mmにしてOK
- ② 「(ページ) レイアウト」 をクリック、「段組み」をクリック、「3 段」をクリック
- ③ エンターキーを何度も押して、ページの下まで段の区切りがわかるようにする



～以下は 3 ページの「完成例」を参照しながら～

- ④ 1 段目部分の上部に、図形を利用して次の手順で完成例のようなタイトルを作成する
挿入 → 図形 → 正方形/長方形 で、「完成例」と同じくらいの大きさの長方形を描き、そのまま「歯の健康について」と入力すると、小さい白文字で入力されるので、その部分をドラッグして、文字サイズを 40 ポイントにする

「40」の選択肢はないのでここに「40」と入力してエンターキーを押すとよい

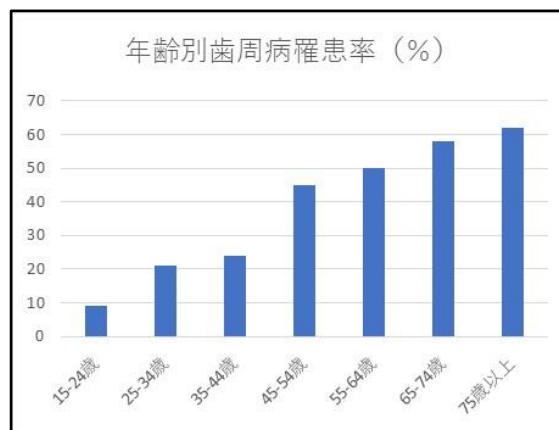


- ⑤ 2 段目の「歯茎は・・・」から「・・・歯周病かも知れません。」までを、1 行空けて、MS 明朝 10.5 ポイントで入力してから、「歯」の前にカーソルを出して → 挿入 → ドロップキャップ → 本文内に表示 をクリックする
- ⑥ 次の 2 行は、HG 創英角ゴシック UB 14 ポイントで入力し、「 $\frac{5}{5}$ 」または「 $\frac{5}{5}$ 」となっている部分をドラッグ → ホーム → 拡張書式 → 縦中横 をクリックしてとなるようにする
- ⑦ 3 段目は、はじめの見出し文字「歯周病の原因」を MS 明朝 16 ポイントで入力後エンターキーを押して次の行に進み、「HG 丸ゴシック M-PRO 10.5 ポイント」にしてから、段落番号を設定して⑤までの文を入力する。次の見出し「歯周病を予防するには」以降も同じ方法で。

55
歳

- ⑧ 左上のグラフは、エクセルで、下左のようなデータを入力 → A1セルからB9セルを選択 → 挿入 → 縦棒グラフ → 集合縦棒 をクリックすると右のようなグラフができるので、グラフタイトル、サイズを整え → グラフをコピー → 作成中のワードに「図」として貼り付ける → 貼り付けたグラフを前面にして適当な位置に置く

	A	B
1	年齢別歯周病罹患率 (%)	
2	年齢	罹患率
3	15-24歳	9
4	25-34歳	21
5	35-44歳	24
6	45-54歳	45
7	55-64歳	50
8	65-74歳	58
9	75歳以上	62

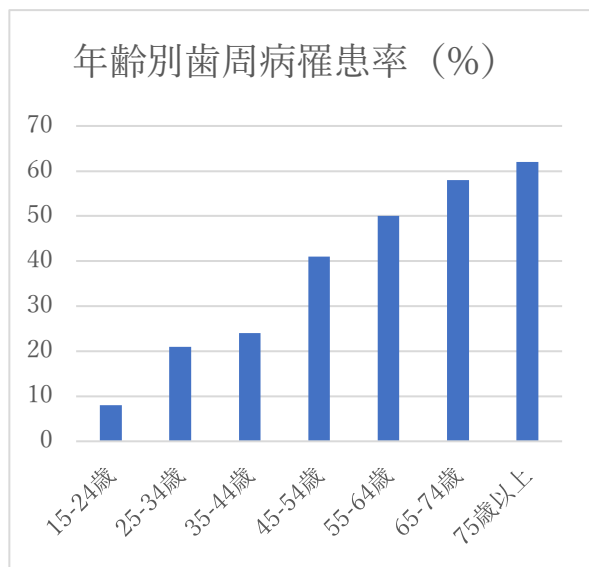


- ⑨ 上下のイラストは、インターネットを起ち上げ、「歯医者」、「虫歯」などのキーワードで画像検索し、好みのものをコピー&ペーストする(いったんピクチャに保存してから挿入してもよい)
- ⑩ 最後に吹き出しの中に、HG 丸ゴシック M-PRO で「歯周病とは」以下の文章を書いて、文字サイズ、配置、「箇条書きマーク」などを整える(青地に白文字でもよい)
- ⑪ 次ページに残った不要な空行をすべて削除して1ページに収まるように整える
- ⑫ 印刷プレビューで全体を確認し、バランスを整え、名前を付けて保存する

※ 時間が足りないと思われる場合は、吹き出しの中の文章を簡略化してもよい

※ **ワードやエクセルのバージョンによっては、この通り出来ない場合もありますので、不明な点はお尋ねください**

歯の健康について



歯

茎は健康ですか？
歯に痛みはないのに歯から血が出た経験は？

歯磨きをしていて血が出たことは・・・？
もし、そんな経験があるなら、歯周病かもしれません。

55歳以上で、歯周病にかかっている人は過半数を超えています。

歯周病の原因

- ① 歯垢から毒素が出る
- ② 歯石が歯肉を刺激し、炎症を悪化させる
- ③ 歯並びが悪いと歯垢がたまる
- ④ 古くなった詰め物が歯肉を傷つける
- ⑤ 鼻や歯並びが悪いと口が閉じにくく、口の中が乾燥して歯垢がつきやすい

歯周病を予防するには

- ① 歯磨きをしっかりとる
- ② 磨き残しがないかきちんとチェックする
- ③ 歯科検診を定期的に受ける

歯周病とは

- ◆ 歯と歯茎のまわりを含めた病気
- ◆ 虫歯と違って歯の形が壊れていくのではなく、歯の周囲を支えている組織が壊れていく病気
- ◆ 自覚症状が出にくく悪化するまで気づかないことや歯を失ってしまうこともある！

